

首都圏中央連絡自動車道 小池高架橋(鋼上部工)工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	小池高架橋 全体数量総括表	落橋防止構造Cについて、数量の合計18,354kgは、アンカーボルトの材料を含む数量となっておりますが、特記仕様書20-11(2)アンカーエの項目φ61ではアンカーボルト・ナット・座金の製作を含むものと記載があります。落橋防止構造Cの質量はアンカーボルトの質量を除いた数量にすべきではないでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
2	小池高架橋 全体数量総括表	横変位拘束構造Aについて、数量の合計1,564kgは、アンカーボルトの材料を含む数量となっておりますが、特記仕様書20-11(2)アンカーエの項目φ61ではアンカーボルト・ナット・座金の製作を含むものと記載があります。横変位拘束構造Aの質量はアンカーボルトの質量を除いた数量にすべきではないでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
3	小池高架橋 全体数量総括表	壁高欄カバープレートについて、阿見高架橋A1. P6橋の数量が4枚となっておりますが、阿見高架橋A1. P6橋 図面47より2枚ではないでしょうか。	設計図 阿見高架橋A1-P6 壁高欄塞ぎ板詳細A1(47/75)及び阿見高架橋A1-P6 伸縮装置(その2)(66/75)に示すとおりA1側に2枚、P6側に2枚設置するものとお考えください。